

平成30年度 住民懇談会 まとめ（森岡コミュニティセンター）



開催日：平成30年12月15日（土） 午後2時～4時

会 場：森岡コミュニティセンター

出席者：【町】町長、企画政策部長、建設部長、建設部次長、建設部技監、広報情報課長、都市計画課長、広報情報課長補佐兼広報統計係長、都市計画課長補佐兼都市計画係長、都市計画係、事務局（広報統計係）

【参加者】22名

（司会）

みなさん、こんにちは。住民懇談会を始めます。

住民懇談会を行う目的としまして、私ども行政は、住民の方の意見を聞きながら、仕事を行っていきたいと思っています。そんな思いから、5年ほど前から毎年テーマを設けてみなさんからの幅広い意見を伺っています。

今回の住民懇談会の狙いは、「景観」がテーマです。いろいろな方とお話をして、「景観」を守り、創り、育てることの必要性について、みなさんと意見を交わすことで、合意形成を行っていければと思っています。

（町長）

こんにちは。

今日はお休みの日にも関わらず、ご出席いただきありがとうございます。住民懇談会は、毎年1回、各地区で行いたいと思っています。一昨年は、「地域福祉」をテーマに住民懇談会を開催しました。ちょうど「地域福祉計画」を策定した時であったので、町の考え方をお伝えし、地域で支え合う福祉について、みんなで考えました。今では、皆さんの協力もあり、「居場所」が立ち上がっています。

昨年は、「子育て」をテーマに各地区の保育園や児童館で行いました。緒川保育園については、駐車場が少ないという問題がありましたが、住民懇談会がひとつのきっかけとなり、駐車場を増やすに至りました。住民懇談会を行った効果が少しずつ出てきているのかなと思います。今年度は、「景観」についてみんなで話し合っていきたいと思っています。

東浦町景観計画の中では、重点区域候補地区がいくつか定められていますが、森岡地区は、「ぶどう畑の景観」が選ばれています。住んでいる方にとっては見慣れた景観かもしれませんが、東浦町の外から来た方にとっては、特別なものを感じるかもしれません。

ただし、景観といっても、そこに所有者や生活している方がいます。そういった方も含めて、みなさんがwin-winの関係になるよう、景観について理解が進んでいけばいいなと思っています。それが私たちの目指すところです。

今日は、みなさんで自由にお話していきましょう。ありがとうございました。

(司会)

みなさんの中には、景観についてあまり詳しくない方もいらっしゃるかと思いますので、これまでの景観への町の取り組みについて、都市計画課からお話させていただきます。

【都市計画課長による説明】

※説明については、「別添 テーマ資料」のとおり

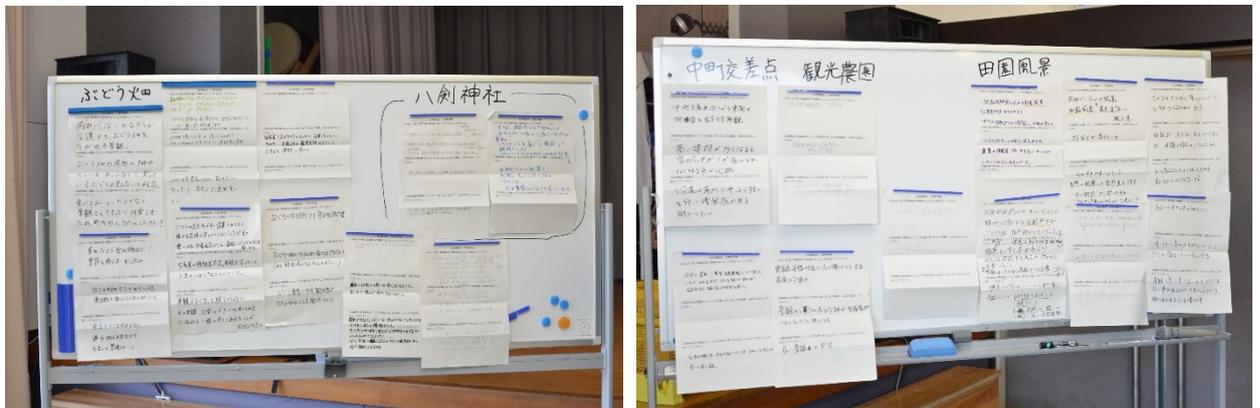
(司会)

みなさまに、ご意見用紙を配付しています。①あなたの思う森岡地区の景観のよいところ②森岡地区の景観のよいところを創り育てるための課題、心配点③森岡地区の景観のよいところを創り育てるために、みんなでできることをそれぞれ記入してください。

【出されたご意見】

参加者の方々に、上記①～③について紙に書いて挙げていただきました。分かりやすいよう大まかな分類をし、全てのご意見を紹介しました。

※みなさんのご意見については、「別添 ご意見用紙」のとおり



(司会)

まず、森岡区長にご意見を伺いたと思います。

(森岡区長)

生まれてからずっと森岡地区に住んでいます。森岡の景観について、昔と比べてみたりすることもあります。特に、私がいいなと思うのは、小学校の高台から、天

気がいい日は御嶽山の峰が見えるところです。そんな景観を大切にしていきたいと思っています。

また、地域の人と話をしている、交通標識や防災関係の標識など、交通関係の標識のペンキがはがれているところがあり、あまりきれいでないなと思います。

私の目から見ると、ゴミステーションのルールが守れていないなど、そういった点が気になります。

(司会)

ありがとうございます。

①あなたの思う森岡地区の景観のよいところを記入してください。	②森岡地区の景観のよいところを創り育てるための課題、心配点を記入してください。	③森岡地区の景観のよいところを創り育てるために、みんなのできることを記入してください。
年2回、森岡の「八劔神社」にて手作り東浦よろいの会の人達(10名)がよろいかぶとを着て「火縄銃」の説明をします。このイベントは「ふるさとガイド」のウォーキング行事です。	北部グラウンドからの坂道の西側に広がるぶどう畑がすきです。 石田農園さんの辺りもいいですね。	

(参加者)

非常に珍しい行事なのですが、八劔神社で年に2回、自分たちの作ったよろい兜を着るイベントがあります。このあたりは、火縄銃がはじめて使われたと言われているところです。このイベントは、このあたりにまつわる歴史を説明し、手作りの火縄銃を持つイベントです。もちろん撃ったりはしません。町外から来た方々にとても珍しがられました。意外にも、町内の方があまりご存じないので、特に森岡の方は、知ってもらおうといいと思います。



(司会)

八劔神社のあたりは、織田信長が初めて鉄砲を使ったといわれる場所ですよ。

(参加者)

そうです。

(参加者)

私の家は八劔神社の隣にあります。1554年に村木砦の戦いがありまして、ふるさとガイドとして、八劔神社の砦が見えた場所なのだ、と思いを馳せることがあります。昔はテレビ番組で放送されることもありましたが、地元の方はあまりこういった歴史を知りません。村木は、歴史のある場所だということをアピールしていくことが必要だと思います。森岡の特徴的な景観として、今はぶどう畑、昔は村木神社なのではないかと思います。2024年がちょうど470年になりますので、何かアピールができたらと思っています。

(司会者)

歴史に関する貴重な資源が、森岡にはたくさんあるということですね。景観のテーマとしては、あまり取り上げられないところですね。

ぶどうの景観については、いかがですか。

(参加者)

最近、観光農園が減っている、ぶどう狩りに来る人が減っているということを知ります。ラジオなどでよく耳にするのは、岡崎市のぶどう園であり、よくPRされています。そのため、名古屋の人にぶどう園について聞くと、岡崎市や大府市と言われてしまいます。

栽培面積でいうと、1位は大府市、2位が東浦町です。町内の方は、ぶどうを買いに行くことが習慣になっていますが、町外に出ると、岡崎市や大府市に負けてしまっているのではないかというのが正直なところです。

(司会)

平成30年度あいちのぶどうのコンテストでは、上位12名のうち、6名が東浦町の方であり、東浦のぶどう農家さんが半数を占めています。先ほど岡崎市が有名ということをおっしゃいましたが、12名のうち岡崎市の方が2名、大府市の方が1名となっています。ぶどうの味でいえば、東浦町は圧倒的に1位だと思うのですが、PRや生産量の面で足りないのでしょうか。

ぶどう生産の当事者としては、「ぶどう畑の景観」に焦点が当てられていることについていかがでしょうか。

(参加者)

私は、緒川でぶどう農家をしています。「ぶどう畑の景観」を今回のテーマとされていますが、ぶどう農家からの意見をお伝えします。

私は就農して5年になり、まだまだ若手です。私の立場の意見では、森岡の景観については、ぶどう畑よりも田んぼが目立つかなと思います。

ぶどうの景観を生かすのであれば、ネットや棚の形について言及するのは分かります。しかし、まずはぶどう農家が減っているという現状に対して、もっと考えるべきです。そうすると、ぶどう農家を増やす環境ができ、ぶどう農家が減っているということを感じてもらえるきっかけができるのではないのでしょうか。

あわよくば、ぶどう畑が増え、盛り上がっていくのではないかなと思っています。コンテストの結果や、ぶどう畑の現状を、外から見た人に実感してもらえらるきっかけが増えればいいなと思っています。



(参加者)

私もぶどうを作っています。平成26年にもぶどう農家を呼んで、ぶどう畑の風景を町の景観重点区域候補地区に指定したいという話をいただきました。私たちとしては、生きる術としてぶどうを作っていて、たまたまそれが認められているということだと思っています。ぶどう畑よりも、田んぼの方が、実際多いです。

山梨県に視察に行ったりすると、山梨はフルーツ王国とって、ものすごくPRをしています。そのスケールに比べると、東浦町は、足元にも及ばないような気がしてしまい、照れくさい気もします。

また、ぶどうがいつまで作れるかということをお心配しています。私の息子も会社勤めですし、お力になれないかもしれないなと思っています。

①あなたの思う森岡地区の景観のよいところを記入してください。	②森岡地区の景観のよいところを創り育てるための課題、心配点を記入してください。	③森岡地区の景観のよいところを創り育てるために、みんなでできることを記入してください。
北部中北門から北に向かった路地に面する田園風景やぶどう畑、当時彼女とよくデートした。	「欲しい環境を自分たちで創れる時代」 結果をすぐ求めるよりみんな相談する、考えるプロセスを楽しむ。 「景観は1人ではなく複数で作る楽しみ」	生産者と住民が一緒に取り組む景観づくり ・竹材を利用した柵づくり ・共感で統一 ・販売小屋の活用展開

(参加者)

先ほどの方がおっしゃった平成26年の際に、私も同席いたしました。

ぶどう畑は、一人の方が畑を所有していたとしても、その土地が飛び地になっていると管理が難しいようです。

「景観」をきっかけにして、ぶどう畑をどう手助けできるか考えていきたいと思っています。私は生まれも育ちも緒川ですが、ぶどうに対する思い入れは、正直ありませんでした。しかし、景観の委員になってみて、思った以上に外部から来た方に、ぶどう畑に対する熱意や思い入れがあると感じました。想像以上に、見て美しい、食べておいしいといった感想を聞きます。私も、ぶどうに対する見方が変わりました。



外からくるお客さんのためにぶどうを買って、お送りすると、その後リピーターになっていただける方がすごく多いです。名古屋の方が、よく買っているようです。おいしさは大前提で、食べておいしいだけでなく、見て美しいと感じる景観に、何かお手伝いできないかなと感じました。

その手助けのひとつとして、ぶどう畑の柵をみんなで作れないかと考えました。柵は、昔の木製の電柱をはぎ、それを板状にしたものを使っていると聞きました。しかし、だいぶ年数がたってきて、曲がってしまったり、腐ってきたりしているそうです。町民の方々も、ぶどう畑のお手伝いとして、また、それを愛でることができるよう、自然環境学習の森の竹の廃材を利用して、柵に変えられないかと考えました。一つの共通言語として、ぶどう園をつなげると、エリアとしての価値が高まると思います。そんなことをみんなで一緒にできないかと考えています。

(司会)

竹を利用した柵というご意見をいただきました。

(参加者)

私のぶどう園は、森岡でも大府市との境界に近いところにあります。このあたりは、ぶどう栽培には適さない地域でしたが、土地改良をし、ぶどう畑にはとても適した場所となりました。

今日参加させていただいたのは、住民の方が、どんなふうにもぶどう農家を見てらっしゃるのか、話を聴きたかったからです。私たちにとっては、ぶどう畑は生産の場所です。例えば、消毒の際の騒音や、機械の騒音、また、風向きによっては、農薬が道路に出てしまったり、通りかかった車にかかってしまったりすることもあり

ます。機械を移動させる際に、道路に泥を落としてしまうこともあります。そんなことをしながらも生産しているわけです。

私のぶどう畑の柵は、木製ですが、先ほど言われた木製の電柱の柵です。風よけという意味もありますが、ほとんどが防犯の意味で設置しています。1房500円から1,000円もするような製品を作っていますが、柵がないと、簡単に取ってもいいのかなど勘違いをされる方もいらっしゃいます。当たり前のように入ってきてしまったり、食べられてしまったり、取っていつてしまうということもあると聞きます。しかし、柵を立てていれば、入ってはいけないという印でもあります。また、ネットについては、消毒が外へ飛ばないように設置しています。ブルーのネットはすごく目が細かくできています。柵やネットにはこのような事情があり、必要があるから設置しています。

今、木の電柱はなくなってしまいましたが、竹の柵ですと、数年で腐食・劣化してしまいます。木の柵は、防腐剤がしみこませてあるので、30~40年はもちます。土に入っている部分でも、傷みません。

(参加者)

私もぶどう農家であり、畑は緒川にあります。東浦町のぶどうは、世間的にはあまり有名ではありません。東浦町のゆるキャラも、ぶどうをモチーフにしてくれたらよかったのかなと思います。そうすればもっとアピールできたのかなと思います。



(参加者)

私はただのサラリーマンですが、夏場だけ限定でぶどう畑を手伝いに行っています。

20年位前に、ぶどうの蔓(つた)を使って、家内がクリスマスリースを作っていました。ぶどうはそのまま食べてもおいしいですが、ワインやスイーツなど、見るだけでなく食べるほうでも体験型のものがあるといいなと思います。

なお、大府市では、「ぶどりん」というキャラクターがいます。キャラクターについては、大府市に先んじられています。

今後は、ぶどう畑の柵も含め、ぶどうを買うだけでなく、見る・食す・体験できるものがあると、観光だけでなく、景観としても活性化していくのではないかなと思います。

(司会者)

ぶどうを使った特産品については、以前、町を盛り上げる提案として、中学生か

らも同様の提案をいただきました。

①あなたの思う森岡地区の景観のよいところを記入してください。	②森岡地区の景観のよいところを創り育てるための課題、心配点を記入してください。	③森岡地区の景観のよいところを創り育てるために、みんなのできることを記入してください。
ぶどうの直売所が多く設置されており、さまざまな品種の色とりどりのぶどうが見て楽しめる。出荷市場の少ない森岡ぶどうだからこそ楽しめる。	生産者の後継者不足。景観を守っていく人いなくなるということ。	景観がよくなって終わりではなく、その結果、お客さんがたくさん来てくれる仕組みを一緒に考えてあげることが大切だと思う。

(参加者)

私は東浦で生まれ育ったわけではないのですが、だからこそ東浦町で初めて見て新鮮に感じるものがあります。それは、ぶどうの直売所です。直売所には、いろいろな色の品種があって、今の言葉でいうと、インスタ映えするぶどうがいっぱい並んでいて、そこがいいなと思っています。東浦町は、岡崎市などと比較して、市場出荷が少ないため、直売が多くみられます。だからこそ、こういった直売所を多く巡ることができます。それが、東浦町のぶどうの個性だと思うので、守っていかないといけないと思います。

(司会者)

ありがとうございます。

生産量が少なく、流通に乗せられないからこそその強みが東浦町にはあるということですね。住民懇談会が始まる前に、東浦町のPR動画を流させていただきました。その撮影の際にもぶどう畑の方にご協力いただきました。私も実際に購入させていただきました。皮ごと食べることができるぶどうなど、初めて食すものがたくさんありました。

(参加者)

ぶどうの景観とは関係ないのですが、武豊線の車窓から眺める景色がいいなと思っています。

斜面に沿って家が並んでいる風景や村木神社、木が茂っている公園、家だけでなく緑がところどころある風景がいいなと、毎日車窓を眺めながら電車に乗っています。

私の近所にもぶどう農家はいくつかあり、時々見っていますが、木の柵があるため、

中がよく見えず邪魔くさいと思っていました。確かに、柵がないと入ってきてしまう人がいるかもしれないなと思いました。すごく勉強になりました。

①あなたの思う森岡地区の景観のよいところを記入してください。	②森岡地区の景観のよいところを創り育てるための課題、心配点を記入してください。	③森岡地区の景観のよいところを創り育てるために、みんなのできることを記入してください。
都市近郊、観光農園として整備めざす	消毒剤私用の為人手不足とか跡継ぎ不安	PR いろいろな人寄せ催事を

(参加者)

景観に対しては、当初から会議などに参加させていただいています。だいぶ時間がたってしまいましたが、早く農家と行政が一つのテーマに絞って、行動を起こすべきだと思います。例えば、柵にテーマを絞る、というようにです。私たち以外にも、行動したい人はたくさんいますが、どう動いていいかわからないのが実情ですので、方針を早く決めていただいて、動いていきたいと思っています。

私は、観光農園をメインで行っています。ありがたいことに、8月、9月の土日は団体のお客で全て埋まっており、だいたい2,000人近い方がいらっしゃいます。しかし、車が全て入らないという問題があります。自分でも駐車場を整備したりしましたが、それでも足りません。お客さんも少しずつ減ってきてしまっている中で、駐車場だけでなく、いろいろな面で充実させていかないといけないと思っています。観光面を充実させるのであれば、電車で来るのは難しい場所なので、行政にも協力していただきたいと思っています。4工区には、駐車場にできそうな土地があります。とにかく、景観について、早く進めていきたいです。

①あなたの思う森岡地区の景観のよいところを記入してください。	②森岡地区の景観のよいところを創り育てるための課題、心配点を記入してください。	③森岡地区の景観のよいところを創り育てるために、みんなのできることを記入してください。
中町交差点辺りから東南の街並みを見下ろす景観	高い建物が多くなると空の広がりを感じられなくなる点が心配	沿道の草刈りやゴミ拾いを行い、清潔感のある街にしたい

(参加者)

私は中町交差点について書かせていただきました。家庭菜園みたいなことをしている場所がありまして、そこから南東を見下ろすと、空がすごく広いように感じます。晴れた時は、空がすごくきれいです。

また、森岡のぶどう畑は、人通りが非常に少ないと思っています。せっかく、いい景観だと推していくのであれば、もっと整備をしていかないと、PR できないのではないかなと思いました。

また、田園風景などの景観に、みんなに関わっていただくという意識が必要になってくると思いました。

(参加者)

景観の写真を撮影するにあたり、これからは写真だけではなく、最近ドローンを始めました。空から動く動画をとるというのもいいと思いました。

(参加者)

あいち健康プラザの一番上の階に上がって森岡を見渡すと、山や森、川、刈谷市や御嶽山が見えます。さらには、知多半島の地形を見渡すことができます。田舎な部分もあり、都会なところもあることが東浦町のよさだと感じており、東浦町で生まれてよかったと思っています。

(司会者)

愛知県庁から出向してくる職員の方も、役場の屋上から東浦町を見た景色が素晴らしかったと言ってくれます。

①あなたの思う森岡地区の景観のよいところを記入してください。	②森岡地区の景観のよいところを創り育てるための課題、心配点を記入してください。	③森岡地区の景観のよいところを創り育てるために、みんなのできることを記入してください。
ぶどう畑を見下ろす、見上げる眺望	ぶどう畑の付加価値となるプラスアルファ (ex. 視点場となるカフェ・レストラン…)	ぶどう農家と住民、観光客が Win-Win となる関係づくり

(参加者)

私は大府市出身で、大府市にもぶどうの直売所がありますが、なかなか景観の中にはありません。東浦町の特長である、景観の中にぶどう畑があるというのは、珍しいと思います。今は緒川に住んでいますが、当時は森岡に住みたいなと思ったことがあります。しかし、市街化調整



区域ですので、家を建てることはできません。

農家の方は生きる術としてぶどうの生産を行っており、現在、ぶどう農家が減ってきています。ぶどう農家にとっても景観にとっても、win-winの関係にするにはどうすればいいか、景観を手段として、ぶどう農家の方にメリットをもたらすにはどうすればいいのか考えなくてはなりません。

景観を強みとし、それを活かしていくには、プラスアルファの付加価値である、視点場（眺望）を生かすことだと思います。例えばぶどう畑を見渡せるカフェがあれば、それだけでも、何かのエッセンス（きっかけ）として、一過性であっても人が来てくれるかもしれません。

イタリアだと、ぶどう畑が世界遺産になっています。そこまでたどり着くには遠いですが、住民の意識の中で、イタリアの畑のような目標があるということは、農家さんと共通の意識を持つという点において、いいのではないかと思います。

（参加者）

私は緒川に住んでおり、毎年緒川地区で新聞を発行しています。私は緒川地区の写真が好きなので、ドローンで写真を撮影しました。於大が丘の上から、田園風景が写るように撮りました。こういったことも、景観のひとつだと思っています。やっぱり、上から見るといい写真でした。

（参加者）

ぶどう農家さんにとっては、ぶどうの生産は、生活が懸かっています。行政としては、ぶどう畑を景観として残していきたいということですが、農家さんと行政の間で、腹を割って話し合う必要があると思います。

先ほど、ぶどう園の駐車場という話が出ました。今のぶどう畑の景観に対して、駐車場は、東浦町として残すべき景観ではないのかもしれないです。また、柵については、町としては統一したものにしてほしいが、補助はできかねるということかもしれません。ぶどう生産で、生計をたてている農家さんからしたら、なぜそこまで協力しないといけないのか、と思うかもしれません。

先ほど、もっと早く景観について進めていきたいという意見がありましたが、その意見が出たのも、腹を割って話し合っていないからだだと思います。

（司会者）

今日まさに、ぶどう農家さんの率直なご意見をいただき、柵などの効果について（農薬が飛び散らない、盗難防止など）初めて知りました。いつも見ている風景でも、そういうことがあるということ相互に知ることができました。これから、地区や行政と一緒にやっていけることを考えるきっかけとなったと思います。駐車場などの課題もいただくことができました。

(町長)

ありがとうございました。

今日は、いろいろな方に来ていただき、いろいろな発言をしていただきました。ぶどう畑の話が多かったですが、それだけ関心が高いのかなと思います。私もぶどう農家ではないので、勝手なことは言えませんが、ぶどう畑を時間滞在型にできたらいいなという意見など、私も賛成です。

また、中町から見る風景は、私も好きです。ぶどう畑だけでなく、緒川小学校から見ると、川筋があり田んぼがあり緑が見えます。そこから目を、刈谷市の方に向けるとマンションがあり、夜景もきれいです。さらに、第二農免道路下から見上げて、南斜面にぶどう畑を見上げる景色もきれいだなと思います。

ぶどう畑の柵については、その経緯を知ることができました。それは、文化的景観と言えるのかもしれませんが、もしくは、夢のような話ですが、ぶどうが盗めないような雰囲気地域を作れば、柵が不要になるといった想像もふくらみます。

また、直売所の話も出ました。ぶどうの種類がたくさんあって、宝石のようできれいだという話でした。私もお酒が好きなので、いろいろな種類のお酒をさまざまなぶどう園で楽しめたらいいなと思っています。ぶどう畑をはしごできる状態になれば、駐車場問題も解決するかもしれません。初めから何でも否定するのではなく、可能性を考えていく姿勢が大切だと思います。

ぶどう畑の景観について、平成 26 年に話し合ってからあまり進展がないという話がありました。農家さんの迷惑を考慮し、行政に遠慮があって、なかなか話が進まなかったのかもしれませんが。今回は、農家さんの気持ちを知ることができ、よかったです。今後は、もっと突っ込んだ話をさせていただければと思います。

森岡の斜面に家が並ぶ景観がきれいだという話がありました。この景観は、緒川や石浜でも見ることはできますが、景観計画の表紙になっています。また、武豊線で石ヶ瀬橋を渡る時、あいち健康の森に落ちる夕日がきれいだと思っています。このように、自分が好きなシーンを切り取り、都市計画、福祉、農業など、様々な要素とリンクさせながら、みなさんで景観をつくりあげていきたいと思っています。

ありがとうございました。